

大会の実施に関する感染予防対策ガイドライン

砺波市野球連盟

1 はじめに

（公財）全日本軟式野球連盟の「J S B B感染予防対策ガイドライン」に基づき、「富山県大会感染予防対策ガイドライン」を踏まえ、以下とおり市大会を実施しますので、参加チームを含む全ての大会関係者のご理解とご協力をお願いします。

なお、大会会期中において、このガイドラインを遵守されない場合には、参加の取消し（途中退場を含む）や大会を中止することがありますのでご留意をお願いします。

2 大会規則

①健康チェックシートの提出

ア) 参加チームは、別紙「健康チェックシート」に当日のベンチ入りメンバー全員の健康状態及び検温結果等を記録し、大会会場到着時に主催者（役員、審判員、記録員、補助役員）に提出しなければならない。

また、ベンチ入りメンバー以外の登録選手及びチーム関係者が試合前のアップ等に帯同する場合は、「健康チェックシート」に当日のベンチ入り以外の帯同者全員の健康状態及び検温結果等を記録し、大会会場到着時に主催者（役員、審判員、記録員、補助役員）に提出しなければならない。

イ) 大会会場到着時に「健康チェックシート」を提出されないチームは、試合を行うことはできない。

ウ) 主催者は、検温を実施のうえ大会会場に会場し、大会会場到着と同時に「健康チェックシート」への記入とともに健康状態を主催者へ報告しなければならない。

エ) 発熱、咳、倦怠感等の風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。

オ) 14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者の参加を認めない。

また、過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。

カ) 「健康チェックシート」は、大会参加者に感染が判明した場合には、関係機関に公表する可能性があることについて承諾すること。

②マスクの着用等

ア) 参加チーム(当日参加者全員)及び主催者は、大会参加中のマスク着用を義務付ける。

大会参加中とは、大会会場到着から大会会場出発までを示す。

特に、アップ会場への移動は、一般の公園利用者の往来があることから、マスク着用を徹底するようチーム内へ周知すること。

イ) 参加チームのうち、ベンチ入りメンバーに限り熱中症に対する配慮から、アップ会場及び試合会場で活動する間はマスク着用の義務付けは行わない。

ウ) 主催者のうち、当該試合に従事する審判員及び放送員に限り、試合中のマスク着用の義務付けは行わない。

エ) 大会会場（スタンド観戦を含む）内にて主催者及び参加チーム関係者は、熱中症に対する配慮から、人との距離を2m以上確保できる状況において一時的にマスクを外すことを認める。

③大会会場の入場等

ア) 大会会場（スタンドを除く）には、主催者及び参加チームのうち当日のベンチ入りメンバー以外入場は認めない。

イ) 主催者及び当日のベンチ入りメンバーが大会会場に入退場する際には、選手入場口に備えてある消毒液での消毒実施を義務付ける。

④試合運営

ア) 試合は、別紙「大会組合せ表」に記載のとおり運営するものとし、主催者の指示により「入場」が完了次第、速やかに試合を開始する。

イ) 試合終了後は、両チームでグラウンド整備及びベンチ内清掃(消毒)を義務付ける。

ウ) 第2試合目以降のチームは、前の試合チームがベンチ内の清掃(消毒)をして、退場が完了するまで入場することはできない。（主催者の指示によるものとする）

エ) アップ会場における練習や試合前及び試合中において、全選手が密集する円陣、声出し及び選手同士が密接するハイタッチなどは認めない。

オ) 攻守は、従来通りメンバー表交換時に両チームの主将によるジャンケンで決定することとするが、ジャンケン前の握手は行わない。

カ) 試合前の整列及び挨拶は、ホームベース前での審判員及び両チームの監督による挨拶し、両チームの選手はファウルラインに平行に整列し挨拶を行うものとする。

キ) ベンチ及びスタンドからの鳴り物による応援やメガホンなどによる声援は認めない。

ク) 監督者会議終了後から大会前日までの間に、参加チーム関係者（選手及び所属する会社を含む）に感染者が発生した場合は、当該チームの参加は認めない。

ケ) 大会期間中において参加チーム関係者（選手及び所属する会社を含む）に感染者が発生した場合は大会を中止する。主催関係者において感染者が発生した場合も同様の対応とする。

コ) 感染者が発生した場合あるいは過去に発生した者が在籍するチーム等に対して誹謗中傷したり非難したりすることは厳に慎むとともに、上記以外に感染拡大に繋がる可能性のある事態が発生した場合は主催者の指示に従うものとする。

3 その他

① 各自で水筒などを準備し、十分な水分補給に心掛けてください。なお、試合前の練習においては休息や水分補給の時間を積極的に設けるよう努めてください。

② チームで準備する飲料やコップ等については、個数を増やすなど共有(まわし飲み)を避けるよう工夫してください。

③ 試合中において、攻撃時間が長くなる場合には球審の判断で給水時間を設ける場合がありますので、チームはその指示に必ず従ってください。